

## 3. アリーナのコンセプト等について

- ① アリーナの検討プロセス(案)
- ② アリーナのコンセプト(案)
- ③ 第2回会議でのご質問について

# 3-① アリーナの検討プロセス（案）

## 【アリーナの検討プロセス（案）】

第1回会議  
第2回会議

アリーナ全般に対する意見聴取

第3回会議  
(8月21日)

機能・運営に対する意見聴取  
(チェックリストの充実)

第4回会議  
(10月頃)

必要な施設の  
絞り込み

主要機能の絞り込み

詳細機能・運営に  
対する意見聴取  
(チェックリストの充実)

第5回会議  
(12月頃)

必要な施設・主要機能(案)の提示

必要な施設・主要機能の決定  
(中間とりまとめ)(市)

スポーツ  
関係者  
からの  
ヒアリング

サウンディ  
ング

引き続き検討

## 3-① アリーナの検討プロセス（案）

### 【機能等の絞込みにあたっての視点（案）】

#### ① 必要な施設の絞込み（付帯施設を含む）

- ・アリーナのコンセプトに合致するかどうか
- ・利用ニーズが高いかどうか
- ・整備しない場合の影響があるかどうか



#### ② 主要機能の絞込み（概算事業費の算定に大きな影響を及ぼすもの）

- ・利用者の増加に寄与するかどうか
- ・コストが大きすぎないかどうか



#### ③ 詳細機能の絞込み

- ・利用者の増加に寄与するかどうか
- ・コストが大きすぎないかどうか

## 3-① アリーナの検討プロセス（案）

### 【必要な施設の絞込み(メインアリーナの場合のイメージ)】

○施設種別：メインアリーナ

視点		評価	
コンセプト	現有施設	1,425㎡(37.5m×38m) バスケットボール2面、バレーボール2面、バドミントン8面、 卓球24台、テニス2面等	○
	健康	スポーツの実施機会を確保することで、市民の健康増進に寄与する。	○
	交流	スポーツを通じた市民どうし、市民とアスリートの交流が期待できる。また、 大会等の開催時には市外からの来客があり、周辺への経済効果も期待 できる。	○
	防災	青い森セントラルパークは現在指定緊急避難場所として指定されている が、指定避難所としても利用が可能となる。(指定避難所として指定する かは今後検討。)	○
利用ニーズ		現在の市民体育館の主競技場は平成28年度の利用率が82% (昼間(10時～16時)では92%)となっており、利用ニーズは高い。	○
整備しない場合の影響		現在の市民体育館が老朽化により使用できなくなった場合、現在の利用 者を全て他施設で受け入れることは難しい。	○
総合評価			

※他の施設についても同様の視点で絞込みを行う。

# 3-① アリーナの検討プロセス（案）

## 【主要機能の絞り込み（メインアリーナの場合のイメージ）】

○施設種別：メインアリーナ

主要機能		視点				総合評価	
		利用者の増加		コスト			
必要面積	競技(大会・練習)に必要な面積	大会等への利用を促進する効果が期待されるが、...		面積増になるごとに費用は増していくが、...			
	.....						
観客席							
床							

※他の施設についても同様の視点で絞り込みを行う。

# 3-② アリーナのコンセプト（案）

## 【アリーナのコンセプト(案)について】

### <課題・ニーズ>

市民体育館の老朽化

短命市返上・健康寿命の延伸  
(市民の健康づくり・スポーツ振興)

人口減少・少子高齢化への対応  
(交流人口拡大で経済効果を得る)

青森操車場跡地の利活用  
(防災機能を備えた公園)

### <本事業での対応>

市民体育館の代替施設として整備  
(前提条件)

**健康** 市民のスポーツ機会の拡大

**交流** 多世代・市民とアスリートが  
交流できるアリーナ

**防災** 災害時にも利用できる  
アリーナ



# 3-③ 第2回会議でのご質問について

## ○アリーナの規模について

### 【平成30年第2回定例会 一般質問】

- ・アリーナの整備にあたっては、カクヒログループスタジアム(青森市民体育館)の代替施設ということを念頭に整備を検討し、現在の市民体育館の機能規模が一つの目安になるものと考えているが、今後、有識者会議の中でいただいた御意見を参考にしながら、機能規模を取りまとめていきたい。

### 【平成29年度 第15回市長記者会見 (平成30年1月17日)】

- ・県営のマエダアリーナと同規模のものを造るということは、二重投資的な意味でも、あり得ないのではないかと思う。



カクヒログループスタジアム外観



カクヒログループスタジアム主競技場

(参考:カクヒログループスタジアムとマエダアリーナの比較)

施設名	メインアリーナ規模		収容人数
カクヒログループスタジアム (市民体育館)	バスケットボール 2面、バレーボール 2面、 バドミントン 8面、テニス 2面、 卓球24台 (1面当たり59㎡)	1,425㎡ (37.5m × 38m)	収容人数 3,500人(ステージでの催事の場合) 固定席(2F) 800人 立見席(2F) 200人 移動椅子席(1F) 2,500人(パイプ椅子)
マエダアリーナ (新総合運動公園総合体育館)	バスケットボール 3面、バレーボール 4面 バドミントン 14面、テニス 3面、ハンドボール2面、卓球24面(1面当たり123㎡)	2,944㎡ (64m × 46m)	観客席 固定席(2F~3F) 3,368席 移動席(1F) 1,980席

※卓球は、1面当たりの競技領域の大きさに違いがある

## 3-③ 第2回会議でのご質問について

### ○新駅について

- ・青森操車場跡地の利活用(新駅の設置)については、平成7年から重点事業に係る事項として青森県に対して要望してきたところ。
- ・平成25年3月の青森操車場跡地利用計画審議会からの答申書では、「防災機能を備えた公園としての利用」、「新駅設置を含む交通結節点としての利用」、「公共利用の観点から公共的な施設の建設用地としての利用」の3点が示された。
- ・去る平成30年7月24日にも、平成31年度重点事業に係る県への最重点要望項目として、「青森操車場跡地利用計画策定及び跡地の利活用に向けた連携と、青い森鉄道線への新駅設置の早期実現」を、市長から県知事に要望。



### 《県の回答》

- ・新駅の検討について、「青森市から操車場跡地全体の利活用計画案が示されるなど、協議があった場合には適切に対応していきたい」。



### 【平成30年第2回定例会 一般質問】

- ・青森操車場跡地については、平成25年3月の青森操車場跡地利用計画審議会からの答申書において、「防災機能を備えた公園としての利用」、「新駅設置を含む交通結節点としての利用」、「公共利用の観点から公共的な施設の建設用地としての利用」の3点が示されている。
- ・アリーナプロジェクトの実施を踏まえ、「青森操車場跡地利用計画」については、有識者会議からのご意見を伺いつつ、青森県等の関係機関と協議しながら並行して検討を進める。

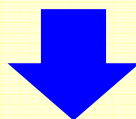


# 3-③ 第2回会議でのご質問について

## ○市民病院について

### 【平成30年第1回定例会 一般質問】

- ・まず、市民病院自体が自立した経営を行えることが求められている。
- ・建替えには、数百億円とも目される巨額な経費を要することなどにより、現段階で判断することは難しい。



- ・市民病院及び浪岡病院については、平成29年5月に「青森市公立病院改革プラン2016-2020」を、同年12月には、「青森市公立病院改革プラン2016-2020の加速化に向けて」を策定。

#### 《市民病院》

- ・院内スペースの有効活用や特別室の改修など院内環境改善事業の実施。

#### 《浪岡病院》

- ・建物の老朽化のため、平成33年4月の開業を目指し、建替え事業を実施。



市民病院



浪岡病院

- ・資金基盤の安定化を図る必要があることから、平成29年度から一般会計からの基準外繰入金による計画的な支援を実施。病院事業会計として、平成35年度に資金不足を解消するよう経営改善に取り組む。